

# 赤ちゃんのお祝いの習慣

地域によって習慣の違いがありますので、あくまでもご参考としてご理解下さい。

命名の儀 「お七夜」	赤ちゃんの誕生から七日目が「お七夜」です。 名前が決まったら命名軸や半紙に名前、生年月日を大きく書いて柱または床の間にかけます。 生後14日以内に赤ちゃんの名前を役所に届けます。
誕生餅 (親餅)	「お七夜」に振る舞うお餅です。 男児は黄色と白、女児は赤と白のお餅を親戚や御近所に配ります。 五個入り、七個入りがあります。必ず奇数です。 お餅のかわりに「砂糖餅」を使う人も多く見られます。 近所のお餅屋・和菓子店さんにご相談してみてください。
孫渡し	実家で出産した母子が婚家に帰る事です。 帰る日の目安は三ヶ月越しにならないようご注意ください。
名付け披露	孫渡し後、お日柄の良い日のお昼食時に両家の親戚を招いて赤ちゃんのご披露をします。
お宮参り	地方によって日数が異なります。早い所は出産から30~31日、遅い所はお食い初めと同じ100日過ぎに氏神様にお参りして、こどもの健康と先々の幸福を祈願します。
お食い初め (お箸初め)	生後100日(地方により110または120日)で、生涯食べ物に恵まれるように祈念し、赤ちゃんの食前を初めて整える行事です。 お宮参りと一緒に行う地方が多いようです。
お正月	お子様が初めて迎えるお正月から、毎年、一年間の健やかな成長と無病息災をお願いして床の間にお飾りします。 男児は破魔弓、女児は羽子板を飾ります。
初節句祝い	初節句は、赤ちゃんが健康ですくすくと成長する事を願い、女児はひな人形、男児は鎧・兜・鯉のぼりを飾ってお祝いします。 地方によっては旧暦で行いますので気をつけましょう。
初誕生祝い	初誕生祝い満1歳のお祝いです。 ご両家の身内でお膳を囲みお祝いします。
七五三	11月15日に氏神様の七五三の行事に参加します。 正式には、女児は三歳と七歳、男児は五歳(いずれも本来は数え年)でお参りしますが、最近は三歳、五歳、七歳とも自由にお参りするケースも多いようです。